

第4回近江八幡市立安土小学校整備地選定委員会(要旨)

1. 開催日時 令和2年12月2日(水) 午後7時30分～8時45分

2. 開催場所 安土町総合支所3階議員控室

3. 出席委員等 ◎寺村 浩 委員長、○深井 千恵 副委員長
善住 宏治 委員、川原崎 真弓 委員、重野 芳広 委員
木野 和也 委員、鵜飼 文雄 委員、善住 昌弘 委員

近江八幡市教育長 日岡 昇

4. 事務局出席者

| | |
|----------|-------|
| 教育部長 | 西川 仁司 |
| 教育総務課長 | 秋山 直人 |
| 教育総務課長補佐 | 藪田 毅 |
| 教育総務課主事 | 岡地 竜男 |

5. 会議を傍聴した者 11人

6. 内容

- (1)開会
- (2)挨拶
- (3)安土小学校整備地選定(投票)
- (4)その他

7. 議事

(1)開会～(2)挨拶 日岡教育長

みなさんこんばんは。ご多用の中、ご参集いただきありがとうございます。本日は第4回目の委員会ということで、委員会における整備地選定の方向性を出していただき、今回をもって解散とさせていただきたいと思っております。後ほど、事務局から今後のスケジュール等について説明もあるかと存じますが、あくまで選定委員会として方向性を決めていただくことを目的としております。本日の選定結果をもって直接整備に着手するということではなく、選

定結果を受け教育委員のみなさまと協議を行ったうえで、教育委員会として市長に申し出を行う予定をしており、それを受け市として判断がなされたうえで、議会において最終的に決定されるものであると認識しております。いずれに決まったとしても早急に進めるため、引き続きみなさまにもご協力賜りますようお願い申し上げます。

(3)安土小学校整備地選定(投票)

議事に先立ち、事務局より配布資料を確認し、寺村委員長議事進行のもと、委員8名全員が出席し本委員会が成立していることを報告。

(委員長)これまで3回にわたる委員会で協議を重ねてきたが、本日、安土小学校の整備地について現地か、移転候補地か、記名投票を行い、多数決により当委員会の結論としたい。投票に入る前に各委員からご意見等あれば、内容を伺いたい。

【安土小学校 PTA】

・前回の委員会において説明があったデメリットへの対応策等を整理した会議資料を添え、PTA会員に対し再度アンケートを行った。回答率は前回よりやや増え、会員457人のうち回答数が314名で68.7%であった。

【安土幼稚園】

・小学校PTA同様、前回の委員会の資料を添えて保護者に対し、2回目のアンケートを行った。回答率はあまり変わらず、1回目の際は79%であったが、2回目は77%であった。

・就学前の保護者として、安土保育園と連携して説明会や情報提供、意見集約を行ってきた。安土保育園の保護者からは、各団体を代表した選定委員会において方向性を決定されることになるが、お子さんがまだ幼稚園や保育園に通われていない保護者の方もおり、住民が平等に知り、意見を言える状況で決めてほしいという要望もあった。

【安土小学校学校評議員】

・前回の委員会を受け、評議員を再度開催。棄権1名、欠席1名、有効投票7名で4:3の割合で移転の方が多かった。

・第1回目の委員会で提示された検討資料における移転候補地の用地面積に関して、参考資料としてコミュニティセンター(コミセン)を含めた場合の面積が提示されており、学校単独の場合は約28,600㎡、コミセン含めた場合学校用地は約20,150㎡となっている。本委員会はあくまで学校の整備地をどうするかということを議論しており、仮に移転となった場合でも学校単独を基準として進んでいくという認識であるが、今後の議論でコミセンを一体整備するとなった場合であっても、学校用地としては単独の28,600㎡を確保するということが良いか。

(事務局)あくまで面積や配置図は想定であるため、今後具体的な設計に入る段階で変わっていくことは考えられる。委員ご指摘の通りあくまで委員会としては学校単独を基準に考えており、仮に移転となりコミセン等他施設の一体整備になったとしても、学校として必要な面積を確保し、工期にも影響が出ないように進めていきたいと考えている。

【安土学区自治連合会(下豊浦区)】

・移転候補地に関して、現地と比較して地盤が緩いことや、今後交通事情が変わってくることに不安を持たれている方が多い。また、ボーリング調査はされているが、本当に整備しても大丈夫なのかという不安もあり、仮に移転となった場合、それらの不安をぬぐうためにも地域住民への説明会等を実施してほしい。

(委員長)その他各委員からの報告事項が無ければ投票に移りたいが、投票方法に関して事務局より説明を願う。

(事務局)委員全員に投票用紙を配布。団体名と氏名を記入のうえ、現地・移転どちらかに丸をし、意見要望欄は先ほど出された意見等を含め、自由記入とする。

(委員長)意見要望に関しては、整備地の選定にあたり、付帯意見として整理のうえ報告したいと考えているので、十分に検討のうえ記入をお願いしたい。

【記入・投票】 約10分

(事務局)開票の結果、保留が1名、移転7名となり、選定結果としては「移転」となった。

【意見要望欄】

- ・決定地が決まれば即実現を望みます。今度の予定について可能であれば概要だけでも教えてください。
- ・安土小学校のみの移転として賛成します。
- ・検討資料に提示のあった面積とほぼ同等の広さが確保される条件です。移転の場合、現小学校用地は公共用地として活用する説明を受けました。
- ・安土住民のみなさまが安全で安心できる学校建築を希望いたします。
- ・安土幼稚園PTAは二度のアンケートの結果、現地40%、移転60%という結果となりました。現地投票者の多くが、移転先が浸水想定区域内であることを不安視されております。また、移転投票者の多くも、災害に対する徹底した対策を強く希望されております。子どもたちのために、安土住民すべての方々のために徹底した対策のもと、広い候補地での建て替えを願っております。
- ・湿地帯での安全性、専門家の声が必要で住民の理解を高めてほしい。
- ・通学路を含め、今後県道2号線の移転も想定され交通量の増加を含め、安全対策を進め

てもらいたい。

- ・決定事項について、住民への説明会を開いて多くの人に理解を高めてほしい。
- ・自治連合会の記名アンケートは22対7で移転であった。常楽寺区として11月29日に町会長15名で話し合いを一時間もちました。
- ・選定地が決まれば報告説明会を学区で開催してほしい。
- ・跡地について、公的な利用で福祉ゾーン等有効に活用できるように望む。
- ・地盤の緩さ、浸水の不安、道路の安全性に対する不安が、保護者から多く聞かれています。建て替え地が決まれば、具体的な対策を検討されると思いますが、安心、安全な学校となるように対策の徹底をお願いします。また、土地に関しては、その安全性について専門家の意見を聞いてほしいという声もありました。一日でも早く子どもたち、保護者の期待に応える素敵な安土小学校となることを願っています。
- ・浸水想定区域への対策を、周辺部分も含めて十分に対策を取っていただき、安心できるようにお願いします。(地震、洪水、水害対策等)
- ・安全な通学路のため、安全対策を取っていただきたい。(古地下の安全確保、中学生、一般の人との往来の危険性、高架下の集中、新しい道路の設置も見据えて)
- ・跡地利用については、地域で協議しより望ましいものに。

(委員長)報告のとおり、選定委員会における選定結果は移転となった。意見、要望に関しては付帯意見として報告するため、改めて確認を行いたい。

(委員長)安心安全ということで浸水想定区域への対応、通学路を含めた安全対策、跡地利用に関する内容、地域住民への説明会の実施等の意見があったが、具体的なものはあるか。

(委員)特に浸水想定区域への対策等は専門的な知見も必要であるため、今後具体的な対策を含めて検討いただいてはどうか。

(委員長)いずれにしても、浸水想定区域や交通安全に関しては対策を徹底するという形で付帯意見としたい。

(委員)浸水想定区域に関しては、学校自体の対策に加え、通学路等周辺道路への対策も必要ではないか。

(委員)跡地利用に関しては、過去の委員会の説明において公共利用としての活用を明言されており、意見ではなく、条件という認識である。

(委員)公共用地として、あくまで例であるが福祉的な活用等、町の真ん中にある立地ということもふまえ、有効的に活用いただきたい。

(委員長)公共用地という前提のもと、地域の意見をふまえた有効的な活用を付帯意見としたい。

(委員長)地域住民の方が安心いただけるよう住民理解を得るため、説明会等の開催という意見に関してはどうか。

(委員)方向性が決まれば、報告会を学区民に対して開催してほしい。

(委員)現地か移転の検討ではなく、決まった方向性を前提に地域への説明会を開催してほしい。

(委員)学校面積に関して、面積が2倍近く広くなるから移転を希望するという方もおり、極論になるが、移転になったが他施設の一体整備により現地より学校用地が狭くなってしまっは前提条件が変わってしまうため、その他項目も含めてキーとなる基準は守ってほしい。

(委員長)具体的な数値は今後変わっていく可能性もあるが、運動場、駐車場も含めて広くなることをメリットとして考えられている方もおり、大きく面積が減らないようにしていただきたい。

(各委員)新しい学校建設に向けて早急に事業を進めていただきたい。

(日岡教育長)あくまで選定委員会における方向性の決定であり、後日委員長から正式に報告を受け、その報告内容を教育委員のみなさまと協議し、最終的に市長に報告をさせていただく予定をしている。

(委員長)後日、委員長から正式に報告を行う。報告書の内容については各委員のみなさまにも事前に確認させていただく。

【付帯意見要約】

- ①学校、保護者及び自治会の意見を十分に聴取し、通学路を含めた安全対策に万全を期すこと。
- ②地盤改良や嵩上げ等、浸水想定区域への対応に万全を期すこと。
- ③現在の小学校跡地については、地域の意見を十分に聴取し、公共用地として活用すること。
- ④市としての方向性が決定された後、住民説明会を開催すること

(4)その他

【事務局】

寺村委員長はじめ、委員のみなさまにおかれましては約4ヶ月にわたり誠にありがとうございました。今後のスケジュールにつきまして、後日選定委員会としての報告を受け、教育委員に諮り、教育委員会としての方向性を出したうえで、市長に報告を行いまして、市として最終決定したいと考えております。

【西川教育部長 挨拶】

委員のみなさまにおかれましては、7月の第1回目の委員会から大変長い時間にわたり、誰一人欠席されることなくすべての会議にご出席賜りまして誠にありがとうございました。また、大変お忙しいなか、所属される団体への説明、意見集約等いただきまして重ねてお礼申し上げます。

今後この結果を教育委員会、市長へ報告のうえ、市としての最終決定を行いまして、できるだけ早く子どもたちのために小学校の整備に取り掛かれるよう進めてまいります。本日で最後という形になりますが、これからは小学校整備に向けた本番になりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。